血姫夜交

真祖の姫は発情しているっ！

KEDAMAMILK

KEKKIYAKOU

KEDAMAMILK

R-18

はるか昔
世界は魔族が支配し
陽は昇らず
夜が続いていました
人々は彼らの
食物連鎖の下につき
日々怯えて
暮らしていました
そんなある日
ついに「光の勇者」が
魔王を討伐し、
人々の太陽を取り戻したのです
そして太陽の沈まない街
「ソル・ブランカ」を作り
悪魔の脅威に
決して脅かされない
人々の楽園になりました
今も北の森の塔には
太陽の力で魔物が封印
されているという…

そして数年に一度起こる
極夜の日に向けて
封じられた魔物は今も
我々を狙っている…
いいかい？
悪い子はあの森に連れて
行かれてしまうからね
キコ…
キコ…
ちゃんといい子に
しているんだよ
うん！
わかった
暑…
ぱさ…
ふぅ…
えーと…
次の配達は
3地区隣か…
ヒソ
ほら…
あの制服
あそこの孤児院
の子よ
タダ働きさせられて
かわいそうね
噂によると人身売買
とかしているそうよ
ヒソ…
まぁ～怖い
ヒソ…
ヒソ
生まれは選べない
物心ついた時から
この街の影だ
ざぁぁ…

あの森の塔に行けば 静かに暮らせるのかな とか
塔の魔物が復活して この街の嫌なやつ全員 消し飛ばしてくれないかな とか
そんなことばかり 考えてしまう
でもそんなの 起こるわけない 毎日真面目に生きて いくしかないんだ
キコ
キコ
やばっ 午後の配達終わらせて 帰らないと怒られる！
えっ…？
聞こえなかったのか？ お前もうウチに 置いとけねーから
お前いくつになったよ
じゅ…じゅうに…
そのトシになっても 売れなきゃ 価値ねーの！

目つきも愛想も悪ぃーんだよ おめぇはよ
ケホ
ケホッ
ゴッ
ここまで育ててやったんだ 感謝して欲しいワケよ
おい、縛っとけ 口もな
なっ何を… やめっ…！
ムグ…
本当は女児だけなんだがな
「森の悪魔の生贄」として教会に売ってやる
怖い いやだ
ガタ
これからも真面目に働くから
死にたくない
ガタ
それでもこっちは赤字なんだ 悪く思うなよ
ガタ
お願い
運が良ければ生きて帰ってこれるってよ！
ガハハハ

光の勇者よ 尊き魂に 聖なる加護を
ドン゙…
ベギャ
ガン…ッ
ドゴッ
ガサ
ガサ
ガサッ
ザ
痛い…暗い…
森の中の地面って こんな冷たいんだ
身体が動かない… 何だよおれ ここで死ぬのか
日陰な人生… たしかにここで終わるのが ぴったりなのかも…

ふわ…
くら…
天…使……？
綺麗な歌声
洗いたてのシーツのにおい
…母さん？

わっ
ばっ
かあさっ…
お〜起きた
も、へいき？
だいぶやばめ
だったけど目覚めて
よかった
生きて…？
えっ
あの世…？
ここどこだ…
生きてたよ
かろうじてね〜
ここはわたしのおうち
たっ…

びっくりしたよぉ
森の中にヒトの子供が
生きた状態で倒れてて
骨とか内臓とか
ヤバめなのしか
手当してないから
まだ痛いと思うけど
…ッ
子供って…この子も
同じような歳じゃないか
えと…
助けてくれて
ありがとう…
ドキ
ドキ…
きれいな声
長い髪も…
見たことない
服…
ぷりんっ
この子ひとりで
運んでくれたのか…？

ぱっ
ねぇ
ドキッ
な…なに…？
ふいっ
きみさぁ…
オトコ…だよね？
何だこの…
急に雰囲気が…
く…っ
えっ…はぁ…
そう…だけど…
やっぱり！こんな小さいの初めて見た！
あ〜っその反応！どーてーでしょ
どーて…？
なんだこいつ…変だ
それに…

あのっ…
ここに
大人はいないの…？
え〜？
いないよお
わたしだけ
怖い…ッ
とにかく…
隙を見て逃げよう
こいつに関わってると
マズイ気がする
ちら…
離れて…
わたしね、
ここでずーっと
ひとりなの
無理やり連れてこられて
閉じ込められちゃったの
ひどいよね
ざわ…っ
ドクン
街…っ
あんな遠くに…!?
ドクン
ここは…
この場所は…！
ドクン
ドクン
おまえは…ッ
ドクン

森に封印された魔物…っ!?
お前とか ひど～い♡
ぱっ
かぷっ♥
吸血鬼の…
リッ…
ビクッ
あれはお伽話じゃなかったのか
ん～…「プラズマ」って呼ばれてる♡
ばぁんっ
ね～え、君 セーツーしてる?
はっ…
え!?

ちゅ♥
あったかい吐息…
はっ
はっ
はっ
やわらかな唇…
れろ…♥
にゅる…♥
思ったより…
ひんやりした口の中っ
あっ…
よくない事だと
いうことぐらい分かるっ…
ずぢゅ…
でもこの子の口が
気持ちよすぎて…
ぐぽぁ…♥
んっ♥
ちゅぽ♥
ぬぽっ♥
ぬぽっ♥
んっ♥

ずろろ〜〜…
びくっ
びくっ
!!びゅびゅ〜っ
びゅ!!!びゅ〜〜!
〜〜〜〜?!♥
なんだあれ…
自分でするのより
すごかった…っ
はぁ
はぁ
はぁ…
やばっ…
うまっ…
ひさびさすぎて…
おいしすぎ…っ
パァァァァッ♥♥
あー…でも
量足んないかも
こいつなんで
あんなもん
うまそうに
舐めてんだよ…
いや…
この隙に
離れて逃げ…
チラッ

あっ
ダメだよ〜 まだ動いちゃ ケガしてるって言ったでしょっ
ぎゅっ…
ね〜え まだ出るよね 若いんだし
わたしずっとひとりだったからさあ 寂しいんだよね
はぁ
はぁ
殺される…っ
ぶるっ ぶるっ
それともわたしと同じになって…
ずぅ〜〜〜っと一緒にいてくれる?
はぁ
ずっとって…ッ
うあっ… 痛っ… 熱っ…!
ぷつっ
ちぅ〜
ぢぅ〜
どくッ

ん～…
血はフツウ？
セーエキのほうが
味好きなんだよね
くそっ…
身体の力
抜けてっ…
息苦しい…っ
は…
はっ
は
くら…
でもさー…
人間って
おもしろいよね
ぺろ…
だって死にかけると
おちんちんだけ
元気になっちゃうんだもん
ビキ…
ビキッ…
ドクン…
ドクン
だいじょーぶっ
動けなくなるくらいしか
吸ってないから♪
あっ
はァ…ッ
ビクッ

んねぇ君っ
なまえは？
へぁっ…？
あっ…ハヤト…
ハヤト♡
ハヤトぉ♡
トプッ
ビクッ
ビクッ
あぁ…
ねぇ…ハヤト死んじゃうのもったいないよね？
人間なんかやめてわたしと一緒なろっいいでしょ？
ぺちゃ
ぴちゃ
一緒って…コイツと同じになれって事か…？
ね？決まりふたりで力合わせてここから出よ？
で、ムカつく人間も邪魔な太陽も全部ぶっ潰そっ
はっ…
はっ…

あの腐った大人たちも…
良いことなんてなにもなかったあの街も…
この子となら別の生き方に…
わかった
家来にでもなんでもなる…

ハヤト
だいすき
ぬる…♡
チゥゥゥ…
ぽ…
バチッ
かひゅっ？！
バチッ
バチッ

は…え？
？
ギュッ
!?
なにこれ…
え？
？
ギチ…
ギチッ…
この印…
まさかお前…
？
？
くら
くら
勇者の末裔か…っ!!
ふら。。。

血姫夜交

とある旅人の手記

ソル・ブランカ

勇者一行が魔王を討伐したのち
空に人口の太陽を打ち上げ、年中を通して夜の無い国を作った。
街の北部に陽の光が届かない暗い森があり、今も力の弱い魔物が蠢いている。
時々星の周期で極夜が訪れる。
この時魔物が活発になるため、森の中には決して入らないよう言い伝えられている。

退魔の刻印

魔を退ける力を持つ一族の刻印。
その者が死の淵を見ると発現すると言われる。
発現する部位に決まりはなく、刻印から滲む魔力で魔を祓う。
一族は勇者となるべく、刻印を灯す為血の滲む厳しい修行を積む。
また、発現した者は子孫を残す力も強くなるという。

森の塔の魔物

魔王との決戦後、特に力のあった吸血鬼族の姫を捕え、
力を封じるためソル・ブランカ近くの塔に幽閉した。
戦場では血ではなく、男の精液を好んで吸い、
「精漿（プラズマ）」と呼ばれていた。
森から出さないよう、力を付けすぎないよう、
数年に一度女児を供物として捧げる文化が出来たという。
間違っても男を与えないように。

カチャ…
カチャッ
ジュ〜〜
ん、美味い！

森の塔で暮らすようになって
ずいぶん月日が流れた
刻印だかのせいで
完全な吸血鬼に
成れず仕舞いなのだが
塔の主（プラズマ）の世話係として
日々ゆったり過ごしている
?
森の中は案外快適だと思う
食うには困らない
人間の食事も吸血鬼の食事も
両方賄えているし
日々変化に乏しいが
退屈というわけでもない
それに…
ぺた…
ぺた…
はっ…
はっ…
ハヤトぉ…

ぎゅ…っ
ねえ…
もう待てない…
そわ
そわそわ…
愛らしい同居人が
ここに居るから

はいっ
いの豚肉のステーキですよ
かぽっ
ブラッドソースも たっぷりかけてあるし 味見もしたから 口に合うはず
…
むぐ…
むぐ…
ばッッ
そっちじゃ なぁいッ
うまいけど!!
お子様扱いも するなぁ!!
ぽふっ
そっか今日はあの日 ですもんねぇ
うっ…うるさい いいから ベッドに 運んでっ
はいはい
「はい」は 1回ッ
あの日以来彼女は 俺の刻印のせいで 飛べなくなってしまった

このあたりはほとんど夜にならない
だが数年に何度か太陽の力が薄まる時がある
そして逆も然り
周期的に訪れる太陽の力が強くなる日
その日は魔物たちの活動が弱くなるらしい
じーっと…
例に漏れず彼女もこの日は
ふ～っ♥
はっ♥
はっ
な…
なにじろじろ見てんのよ…っ
あまよわビースト（発情期）モードになってしまう
もじ…っ♥

足やめてっ
はやくしてよぉ～
ちんちん出せっ
いっ…
言われなくてもっ…
ぎゅむっ
ぎゅむっ

わくわく
ちゃんと溜めてきてあるから…
ガチガチ…♡
どきどき
はぁっ
はぁっ

わぷっ
ぶるんっ
我慢してんの自分ばかりじゃないんだぞ…

はうぅぅ…くっさい
なんでちんちんこんなくっさいのよぉ…♡
はぁ
くさいって…水浴び用の水汲みに行かせてくれないからじゃん…
はぁ
ふっ
ふっ
すんっ
すんっ
むぁぁ…
くっさ♡
褒めてんのよバカぁ♡

あぁ におうにおう
人間は代謝が高いからすぐ汚れるのよねぇ〜♡
ふっ〜〜〜…♡
うぁ…
息吹きかけるのやめっ…
ぞわぁ…♡
相変わらずちんぽ弱くて笑えるわぁ
れる…♡
びくんっ♡
あの…っ
先に身体洗ってくるから
は?
や〜て♡
あっ…
ぬる…♡
そんなのしなくていいっつの
ぬぷ♡
ぷ
ぷぷ♡
ぐぢゅ…♡
あっ
はっ…
びくっ…
びくんっ…

めろぉっ♥
ぬぽぉっ…♥
小さな口
ほのかな体温…
やわらかな唇
ちゅぷっ♥
洗ってないちんぽと
甘い唾液のにおいが
まざってくらくらする…
すごい音立てて
吸いついてっ…
ずちゅるるっ♥
ずちゅっ♥
ずちゅるっ♥
やば
めちゃくちゃ
気持ちいい…!
チュク
チュク
チュコ

く…
咥えながら!?
!?
この…
わざと
見せつけて…ッ
見てる
見てる〜♡
ちゅ
ちゅぷ
こっちがどれだけ
我慢してるかっ…!
バチン
ON
奥にっ…!
出すっ…!!
びゅる
どぴゅ

ちんちんっ…
ビクッ
ビクッ
きたぁ…っ♡♡♡
ぞくぞくっ…
びくっ
びくっ
ぬぢゅ…
う…せま…っ
ちんこ挿れたら静かになるんだよな…
…ッ
動くよ？

やっぱ全部入んないね
前はすんなり入ってたのに
あっ♥
ハヤトがっ でかくなって…っ
ぱんっ
ぱちゅっ♥
ぷちゅ
俺は今の方が気持ちいいけど
バカぁ…っ
ぱんっぱちゅっぱんっ
はっ♥
はっ♥
はっ♥
…っ
50年前…
最初はちんちんも小さくて よゆーだったのに…
忌々しい刻印のせいで ハヤトを完全に眷属にするの失敗するし
わたしの力も弱くなるし…っ
ざぁこ♡
ざこ〜〜っ
よわよわ〜
チンポ〜
くすくす♡
うぅ…っ

ビクッ
ビクン
てゆーか…
はっ
はっ
はっ
いつの間にか立場逆転してない〜〜っ!?
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ずっ
ずっ
でもセーシ飲まないと発作止まんないし…
パチュッ
パンッ
パンッ
パンッ
性交（えっち）まですることないんだけどっ…
でも…
…っ アンタってほんっとわたしのこと好きよね〜っ…
ふるっ…
なんかむかつく!
そんな必死に腰ふってきもちーんだあ?

痛気持ちいい…っ
指先まで痺れる
この感覚がたまらない
くらっ
ちゅ
ちゅっ
ちゅ
こっちにも
効いて…
ビキッ
ビキ…
ゴチュ
ギュウウ
パチュ
パン
パン
パン
パン
ゴチュ
ずりゅ
ずちゅ
ずちゅ

ぷは〜…。
あー、またほら 血吸わずに跡だけ 付けてどーすんの
身体の半分以上の血 吸わないとなんでしょ
あむ
はぁ
んぅぅ… あっ
はぁ
はっ
はぁ
チュプ
チュロ
はぁ
ほら そんなんじゃ プラズマちゃんとおなじに なれないよ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
かわいい
チュロ
ぞくぞく
んんぅっ…〜〜〜っ
チュパ
ギュッ
チュッ

ハヤトぉ…♡
チュポッ
う…
またこの顔で
おねだりして…っ
すっ
はっ
すっ
はっ
また力弱く
なっちゃうけど
いいの？
いいなら
ベロ出して
ふっ
ふっ
血の味…
れる…♡
ちゅるっ♡
ちゅっ♡
ベロやらか…っ
チュッ
ごめんっ
プラズマちゃん…
ビ〜〜…ッッ
ビクッ
バチッ
きゅううぅ♡
ビクッ
ビクッ
バヂバヂ

口ん中の刻印さわると
めっちゃ締まるっ…
トロ…
はーっ
はっ
はーっ
吸血されて興奮してる
俺も大概だが…
封魔される衝撃で
イく吸血鬼もやばいだろ…
ぶるっ
もっと…
はっ…
はっ…
はっ…
ハヤトぉ…
ちゅ~してっ…♡
はー…っ
やばい…
さすがにもう
我慢できないんだけど
パチュ
パチュッ
ギシッ
にゅっ
プラズマちゃんばっか
イってずるいよ
パチュ
ギシッ
ギシッ

口に出さないと力に
なんないけど…
ずりっ♥
ずりっ♥
むち…♥
どっちに出して
欲しいの？
…ッ♡
…こっちぃ♡♡
へこ
へこ
きゅ…♥
チュプ…♥
…ッ
いっぱいだして…♡

ごぢッ
ドッチュ
びくんっ
ぱちゅ
ぱちゅっ
ごッ
ドッチュッドチュッ
ごぢッ
あ
ゴリッ
きゃ〜んっ
ごちゅっ ごちゅっ ごちゅっ
ゴリュ
きゅんっ
ハヤっ…
ハヤくっ…
きゅんっ
イくっ
ぶるるっ
イーっ あ
ぎしッ
だめっ
だぁ〜〜ッ
ぎしッ
ギシッ
ぎしッ

ぐぬぬ…
なかなかハヤトを吸血鬼化できん…!!
がるる…
俺まだ身体成長してもいいと思ってるしっ
プラズマちゃん魔力取り戻しつつまったりいこっ
おせんたく係できるしっ
まぁちんちんに負けちゃうプラズマちゃん…
かわいーから良いんだけどね
あ痛っ
負けてないッ
これ以上お前がデカくなるとなぁ…
キツくてちんこ入らないんだよっ
…
ふーん…

割といつも通りだけどいつもとちょっと違う感じのシリーズ始めました。
僕しもシリーズはドタバタ劇主人公ヘなちょこ系
ルルムさんシリーズは甘ラブいちゃいちゃバブみ系
すとらちゃんシリーズはちょいシリアスめな人情系
プラズマちゃんはチョロインのラブコメを目指して作ってみました。
何気にファンタジー世界描くの初めてなんですよね。
時間なさ過ぎて世界観あまり描けませんでしたが徐々にいろいろ描いていけたらなと思ってます。
キャラ設定や小ネタなどはファンサイトでアップしていきます！
この後に出したいキャラも居るので楽しい感じになったらいいな～！
けだま漫画の主人公、天涯孤独とかひどい目あってる人多いけど
孤独であれば孤独であるほどちんちんに感情移入できるから……仕方ないね。
毎回言ってるけど締め切りやばすぎて死にそうになった。
ページ数描いててどんどん増えるのやめたくないけどやめたい！！！
来年の抱負は早割入稿です。応援よろしくお願いします。

玉之けだま

FAN
BOX

18歳未満の者の購入、閲覧禁止。
無断転載、無断翻訳禁止。
違法アップロードした者、それらを閲覧、
ダウンロードした者には法的処置を行います。

血姫夜交-真祖の姫は発情しているっ！-

発行
玉之けだま/毛玉牛乳
tamano@kedamamilk.net

2022/12/31 コミックマーケット101

印刷・上野印刷所様
装丁デザイン・円と球様

電子サイトでの
ご購入
ありがとう
ございます！

表紙ウラの白紙ページが
もったいないので脱稿後の
らくがきです。

来年はうさぎ年なので
バニーたくさん描きたいです☺

玉之けだま

毛玉牛乳

Presented by

KEDAMA
MILK